

朗生寺たより

平成19年 年末号



早いもので今年も残りあと僅かになってしまいました。何かと気持ちのゆとりが少なくなります。注意してください。

今年一年の無事をご先祖様に感謝しましょう、新しい年を、元気で明るく笑顔で迎えられようにと祈ってください。
来年も豊かな心で行動しましょう。

皆様の今年1年間のご協力に、「ありがとうございます」と感謝します。
来年も幸福な年でありますように！！！！

〈鏡餅とは！！〉

鏡餅とは、幸せを願う「晴れの日」に神前に捧げた餅をみんなで分け合って食べることで、神様からの祝福を受けようという信仰から起こりました。鏡餅は神様にお供えしてからいただく尊い餅ということで「お供え」といわれます。

なぜ重ねた餅を鏡餅と呼ぶようになったのか。
丸い餅の形が昔の銅鏡に似ているから。昔から、鏡は神様が宿るところとされていました。「鏡」は「鑑みる（かんがみる）」。「かんがみもち」とよぶ音がしだいに変化して鏡餅になったとされています。さらに、鏡餅の丸い形は家庭円満を表し、重ねた姿には1年をめめでたく重ねるという意味もあるそうです。

日本人の信仰は、生活を取り巻くあらゆる物に神様が宿るとされていました。道具や台所などにそれぞれ鏡餅を供える風習が見られます。これは物に感謝したりいつくしんだりする日本人の優しさでしょう。最近では神棚のない家庭なども多くなりましたが、古くからの日本の風習ですから、お正月にはぜひ鏡餅を飾りたいものです。大切なのは、飾る気持ちです。

鏡餅は、祈りと1年無事であったことを感謝する気持ちを込めた日本人のやさしさの文化なのです。感謝の心で、ゆく1年を振り返り、私達の暮らしを支えてきてくれたすべてのものに感謝の気持ちを込めて、鏡餅を飾りましょう。

●お飾りの意味

橙（だいたい）

木から落ちずに大きく実が育つことにあやかっ、代々家が大きく栄えるようにと願った縁起物です。

海老（えび）

その姿になぞらえ、腰が曲がるまで長生きできるようにと祈るものです。

裏白（うらじろ=シダ）

古い葉とともに新しい葉がしだいに伸びてくるので、久しく栄えわたるといふ縁起をかつぐものです。

20年1月行事

1月2日 初祈禱会

※いずれも11時より

1月21日 日朗さま命日忌

